

糖尿病だより

2014年4月
No.32

～薬剤科より～ インスリン療法のおはなし

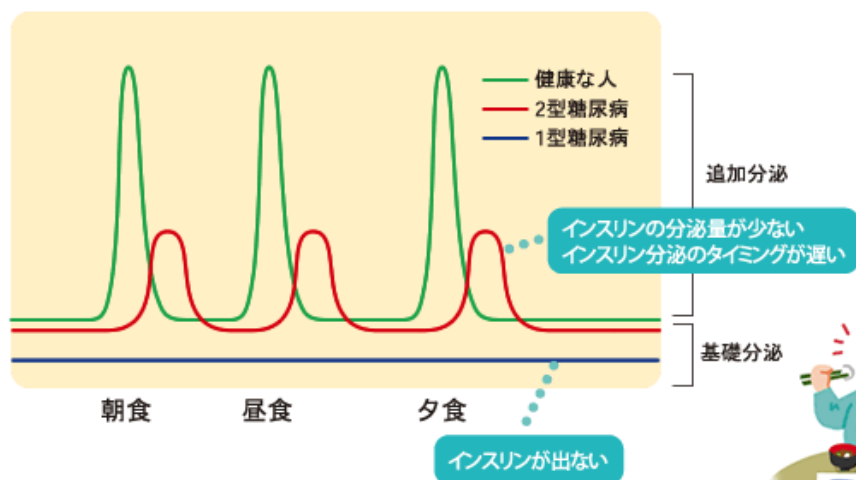
インスリンとは

インスリンは膵臓で作られるホルモンで、一日中ほぼ一定量が分泌される「基礎分泌」と食事などの血糖値の上昇に応じて分泌される「追加分泌」があります。

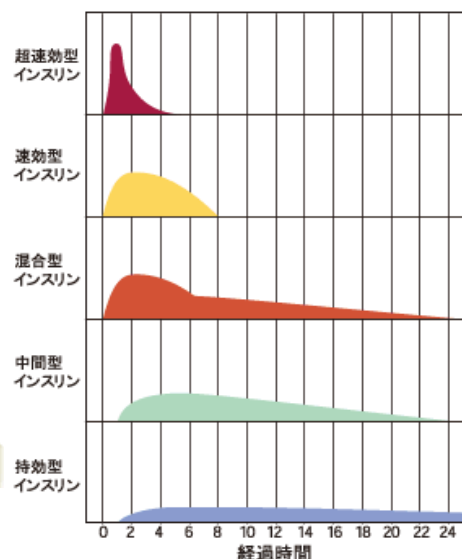
これらの分泌によって血糖値はある一定の範囲内におさまるように調節されています。

☆糖尿病になるとインスリン分泌量が少なくなったり分泌のタイミングが遅くなり、血糖値が上昇します。

●健康な人と糖尿病患者さんのインスリン分泌パターン



●インスリン注射薬の種類と作用時間



インスリン療法とは

インスリン療法とは、不足しているインスリンを注射で補う治療法です。

色々な種類のインスリン注射があります。患者さんの状態にあわせて単独、または組み合わせて使用します。

インスリンと聞くと注射そのものの扱いや使用すると重篤だという不安などが頭に浮かぶ人がいるかもしれません。

しかし、正しく理解して使用すれば安全に使用できますし、膵臓を休ませるために早い段階から使用することもあります。

主治医からインスリン療法のお話があった時は怖がらず前向きに聞いてみましょう。



糖尿病のコントロールには食事・運動などの生活習慣を変えることと、その継続が欠かせません。

皆様の糖尿病療養に役立つ情報をこの「糖尿病だより」で発信していきます。

糖尿病療養指導スタッフ一同

国立病院機構 姫路医療センター

